

ガバナーメッセージ

2月は『平和構築と紛争予防月間』

国際ロータリー第2590地区ガバナー **小倉 正**



新型コロナウイルス感染拡大から1年半以上が経過した昨年後半、首都圏に出されていた緊急事態宣言も解除されました。これにより徐々にではありますが社会が通常の姿を取り戻し、ロータリーも元の姿に近い形での活動が再開され、10月以降には感染者の急激な減少により、地区大会も通常の年度に近い形で開催することができました。又、地区大会終了後に発表された新型コロナウイルスの変異株であるオミクロン株は、従来の変異株に比べはるかに感染力が強いとの事でしたが、12月中は比較的感染者が少なく2022学年度米山奨学生の選考会を始めとする各種のスケジュールも予定通り終了できました。しかしながら、年が変わりますと状況は一変しました。感染が急拡大に進み、新年早々沖縄県、広島県、山口県に「まん延防止等重点措置」が適用されました。このまま感染拡大が進むことも視野にいれますと、感染力が従来型よりはるかに強いオミクロン株に対する感染防止対策をとらざるを得ず、当地区では国際ロータリーの新型コロナウイルスに対する指針『安全と安心を最重点とするロータリー活動の実践』に従い、当面2月末日まで地区の活動については、感染対策を徹底させるために、原則オンライン開催など、地区方針をまとめ、地区内に展開、各クラブにはガバナー補佐経由で周知されたかと思えます。(地区方針の内容はP3をご参照)

この方針により、2月7日に予定されていた第1・第2・第3グループのIM(インターシティ・ミーティング)につきましましては、開催を中止させていただきました。前年度のIMが昨年1月初旬からの緊急事態宣言を受けて、ほぼ全て段取りを終えていた段階で3件全て中止となってしま

いましたので、今年度こそは前年度の企画や準備のノウハウを生かして開催したいと考え、ガバナー月信Vol.7にも開催の概要を記載させていただいておりました。本年度も準備がほぼ完了している状況での中止は誠に残念ではありますが、ご理解の程宜しくお願いいたします。第4・第5グループ及び第6・第7グループのIMにつきましましては、状況に応じて対応したいと考えております。

さて2月のロータリーの特別月間は『平和構築と紛争予防月間』です。

ロータリーは創立された頃から平和と国際理解への貢献に優先的に取り組んできました。

今月はロータリーの歴史を振り返り、全世界に相互理解、善意、そしてロータリーの使命である世界平和を考える月間であります。しかしながら近年世界は、中国の台湾への侵攻やロシアのウクライナ侵攻といった世界全体を巻き込んだ紛争の勃発危機や中国の尖閣諸島への領海侵犯や北朝鮮の極超高速ミサイルの発射実験等、日本の安全保障に重大な影響を及ぼす事例等が相次ぎ、平和構築と紛争予防の観点からも決して見過ごせないリスクを抱えていると思います。

又、近年特に見立つのは、経済的格差の拡大による紛争等であります。

新型コロナウイルスのワクチン接種についても、先進国と発展途上国の経済格差によって生命に大きな影響を及ぼすことのないよう配慮が必要です。

世界には数多くの難民や安全な水を飲めない人々がいる一方、先日発表されたアメリカのIT大手アップル社の株式時価総額が3兆ドル(約345

兆円)を超え、日本の東京株式市場 東証一部 全銘柄の50%超となったとか、ニューヨークのマンスヨンの一室の値段が約190億円になったというような我々の想像を遙かに超えた経済格差を目のあたりにすると、ロータリーの目的にある奉仕の理念で結ばれた職業人が世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和の推進をどうやっ

て実践できるかを考えてしまいます。2月のロータリーの特別月間『平和構築と紛争予防』については、ロータリアン一人一人が考える月間であると思います。

新型コロナウイルスは変異を続け早急に終息する気配が見えませんが、会員の皆様の安全・安心を祈念いたします。